株式会社 エム・システム技研

ヘッドマウント形変換器 ***27・UNIT*** シリーズ

取扱説明書

PC スペック形
ポテンショメータ変換器

形 式
27PM

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・変換器.....1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●取扱いについて

・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置について

・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が -40 ～ +85℃を超えるような場所、周囲湿度が 0 ～ 95 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

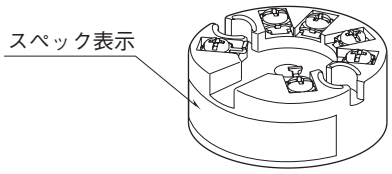
●配線について

・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

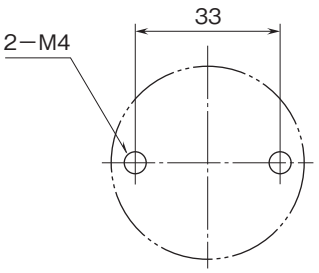
・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

各部の名称



取付方法（単位：mm）

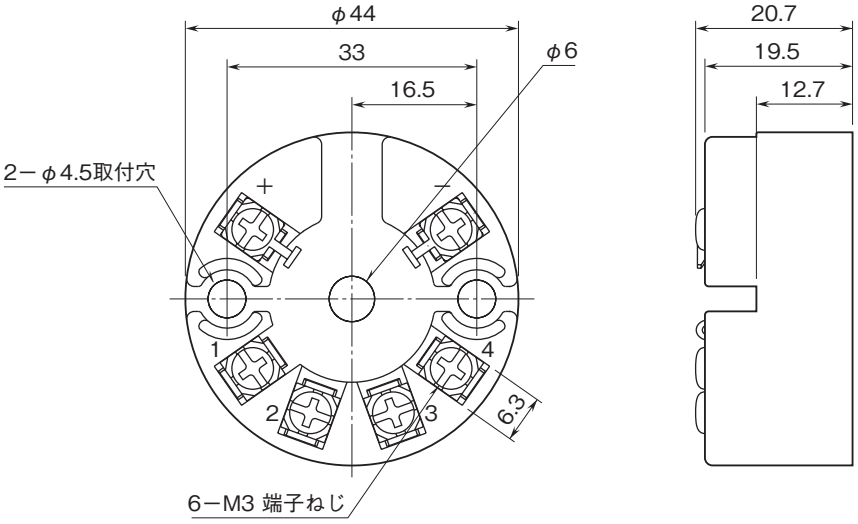
DIN タイプ B センサヘッドに取付けて下さい。



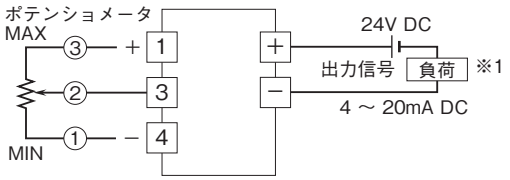
接　続

各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）



端子接続図



※1、通信で設定を行う場合は、抵抗値を
250～500Ωとして下さい。

点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。

②入力信号は正常ですか。

端子番号③＋、④－間に正常な電圧が現れているか電圧計で測定して下さい。

ポテンショメータが断線していると、バーンアウトの設定により出力が100％以上（下方の場合は0％以下）になりますので、このような場合は断線していないか確認して下さい。

③出力信号は正常ですか。

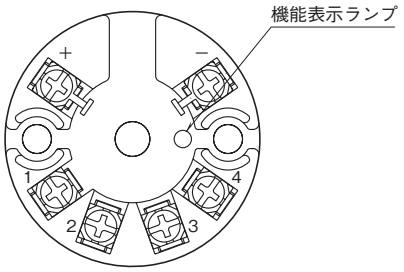
許容負荷抵抗値および供給電圧の関係は下記の通りです。

$$\text{許容負荷抵抗}\,(\Omega) = \frac{\text{供給電圧}\,(\text{V}) - 9\,(\text{V})}{0.023\ (\text{A})}$$

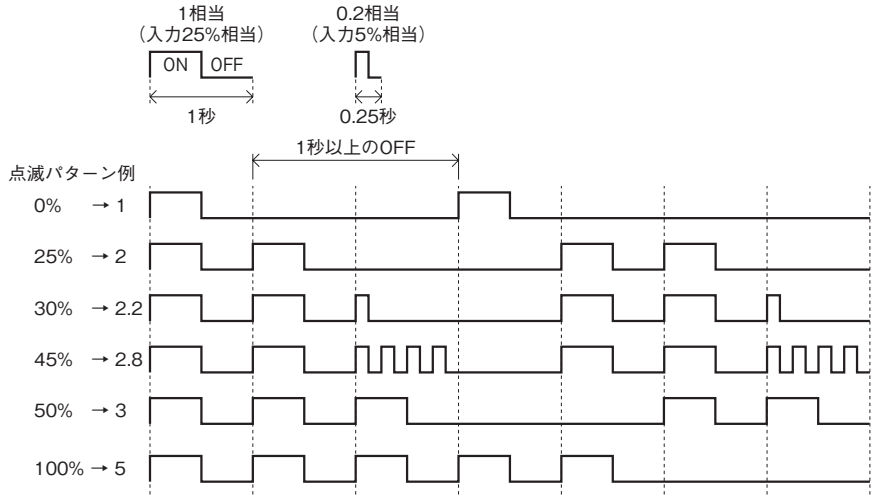
（導線抵抗も含む）

機能表示ランプ（／ M のみ）

■機能表示ランプ

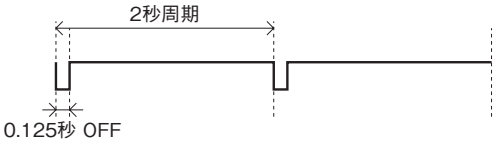


■入力モニタ：入力の 0 ～ 100 % を 1 ～ 5 の数値（0.2 刻み）に変換し、点滅パターンで表示します。
点滅周期は数値の 1 相当を 1 秒、0.2 相当を 0.25 秒とし、その合計で数値を表示します。
パターンは、「1 相当→ 0.2 相当→ 1 秒以上の OFF」を繰返します。

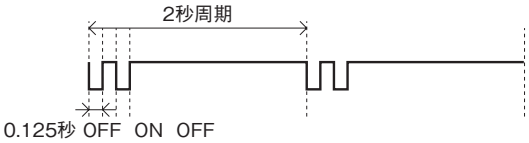


■異常モニタ：機器の異常状態を、以下の点滅パターンで表示します。

・入力信号下限：入力信号が出力下限リミットに相当する値を下回る場合

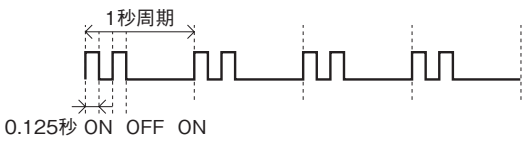


・入力信号上限：入力信号が出力上限リミットに相当する値を上回る場合



・バーンアウト：センサの断線を検出した場合

・回路異常検出：CPU が回路の異常を検出した場合



調整および保守

接続機器との整合をとる場合や各種設定変更が必要な場合は、専用の PC コンフィギュレータソフトと USB 対応 Bell202 モデム（形式：COP − HU）をご使用することで可能になります。
PC コンフィギュレータソフトは、弊社ホームページ http://www.m-system.co.jp よりダウンロードが可能です。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。